

安全データシート

EVOGEN バイオ濃縮フロアクリーナー

2024年3月14日改訂

セクション1-製品及び会社情報	
商品名: Evogen バイオ濃縮フロアクリーナー	非推奨使用方法: 情報なし
内容: 液体 外観: 混濁 匂い: 特徴のある香り	製造者情報: 東栄部品株式会社
他の識別法: 該当なし	住所: 東京都文京区本駒込 6-3-6
推奨使用方法: バクテリアによる硬質表面フロア洗剤/処理剤	電話番号: 03-3946-8111
対象: 情報なし	FAX 番号: 03-3946-8116

セクション2-危険有害性の要約
<p>分類</p> <p>本製品は 2012 OSHA Hazard Communication Standard (29 CFR 1910.1200)により、危険性があるとは考えられていません。</p> <p>皮膚感作 / 範疇 1A</p> <p><u>使用上注意を喚起する GHS ラベル表記</u></p> <p>分類: 該当なし 危険性: 該当なし</p> <p>使用上の注意—予防</p> <p>粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸い込みを避けて下さい。</p> <p>汚染した作業着は作業場から出してはいけません。</p> <p>保護手袋、保護眼鏡を着用して下さい。</p> <p>使用上の注意—反応</p> <p>応急処置のセクションを参照して下さい。</p> <p>皮膚:</p> <p>皮膚に触れた場合は水と石鹼で十分に洗い流して下さい。</p> <p>刺激が続く、または発疹が現れる場合は医師の診断を受けて下さい。</p> <p>汚れた服は再び着用する前に必ず洗って下さい。</p> <p>ご使用上の注意—保管</p> <p>特になし</p> <p>ご使用上の注意—処理</p> <p>地域、国の基準、または国際基準に従って中身、容器を処分して下さい。</p> <p>分類されない危険有害性</p> <p>該当なし</p> <p>その他の情報</p> <p>軽い皮膚の炎症を引き起こす恐れがあります。</p> <p>継続的または長時間、液体が皮膚に触れた場合、アレルギー反応を起こす恐れがあります。</p>

他の化学薬品との関係

情報なし

セクション 3—組成及び成分情報

本製品は界面活性剤、添加剤、安定化酵素、自然発生増殖バクテリア培養を含む緩衝保存水溶液です。

危険有害性物質

成分名	CAS#	重量 (%)
なし		

セクション 4—応急措置

応急処置

一般的な助言 医師の診察を受ける際は、本安全データシートを提示して下さい。

目に触れた場合: 大量の水でまぶたのうらまで十分に目を洗い流して下さい。刺激が続く場合は医師にご相談下さい。

皮膚に触れた場合: 石鹸と水で洗い流して下さい。アレルギー反応が発生する恐れがあります。皮膚の刺激やアレルギー反応が発生した場合は医師にご相談下さい。

吸い込み: 新鮮な空気のある場所に移動して下さい。

飲み込み: 直ちに口をすすぎ、大量の水を飲んで下さい。意識が無い人に対しては、口から物を一切与えないで下さい。

急性及び遅発性の兆候及び作用

影響を受けやすい人はかゆみ、発疹、じんましんをもたらす恐れがあります。

必要な緊急治療及び特別処置の指示

医師へ連絡: 症状に応じて治療して下さい。

セクション 5—火災時の措置

適切な消火剤

地域環境に応じて適切な消火活動を実施して下さい。

不適切な消火剤

注意: 消火する場合は水を使用して下さい。

化学物質から生じる特定の危険性

影響を受けやすい人は皮膚に刺激をもたらす恐れがあります。

統一防火基準

液体

有害性燃焼物質

酸化炭素

燃爆データ

機械的衝撃に対する感度 なし

静電放電に対する感度 なし

消防士用の保護用具と予防措置

他の火災同様に、自給式呼吸装置、MSHA/NIOSH (認証品または同等品) および全身保護服を着用して下さい。

セクション 6—漏出時の措置

個人用予防措置、保護用具、及び緊急手順

個人用予防措置: 皮膚、目との接触を避けて下さい。

環境予防対処法:

セクション 7、8 の保護措置を参照して下さい。

汚染と清掃のための素材と対処法

対処: 安全に配慮して漏出を防いで下さい。

清掃: 適切にラベルが貼られた容器に入れて移動させて下さい。不活性吸収剤で吸収して下さい。

セクション 7—取り扱い及び保管上の注意

安全な取り扱い方法

取扱い方法:

製品ご使用の際には周辺の衛生環境が整っているか確認して下さい。皮膚や目との接触は避けて下さい。

素材不適合性を考慮した安全な保管方法:

保管: 容器はしっかりと締めて下さい。

素材不適合性: 強酸、強アルカリ、強酸化剤は、製品と反応して遊離型酵素の変性やバクテリア培養を不活性化する恐れがあります。

セクション 8—ばく露防止及び保護措置

制御パラメータ

曝露ガイドライン: 本製品は地域の特定規制機関により定められた職業性曝露制限の規定がある有害物質を含有していません。

その他の曝露ガイドライン: Vacated limits revoked by the Court of Appeals decision in AFL-CIO v. OSHA, 965 F. 2d 962 (11th Cir., 1992)

適切な工学的制御

工学的手段: シャワー、洗眼場、換気装置

個人保護具を含む個人保護用対処法

目と顔の保護:

特別必要ではありませんが、飛び散る場合がありますので、サイドシールド付き安全眼鏡を装着して下さい。

皮膚と身体の保護:

特別必要ではありませんが、長時間もしくは繰り返しの接触が考えられる場合には、保護用手袋と防護服を着用して下さい。

呼吸器官の保護:

通常では必要ありませんが、曝露時間が長く、刺激が発生した場合には、換気をして新鮮な空気のところへ移動して下さい。

衛生措置:

整った労働衛生環境で製品を使用して下さい。汚染した服は脱ぎ、再使用前には洗って下さい。

セクション 9—物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質

物理的状态: 液体 **外観:** 混濁 **匂い:** 特徴のある香り **臭気閾値:** データなし

性質

pH: 6.5—8.8

融解点と凝固点: データなし

沸点: 100°C / 212°F

引火点: 該当なし

蒸発率: データなし

可燃性(個体、気体): 該当なし

爆発上限界及び下限界:

データなし

蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重:	1.00
水溶解性:	分散性
溶剤溶解性:	データなし
分配係数:	
N-オクタノール/水	データなし
自己発火温度:	データなし
粘度:	低い
揮発性有機化合物 (％):	該当なし

セクション 10－安定性及び反応性	
反応性:	データなし
化学安定性:	推奨保管状況のもと安定
危険反応の可能性:	正常処理のもと該当なし
危険重合:	危険重合が発生する恐れなし
回避すべき状況:	高温場所での保管は避けて下さい。使用しない時は容器を密閉して下さい。
素材不適合性:	強酸、強アルカリ、強酸化剤は、製品と反応して遊離型酵素の変性やバクテリアの培養を不活性にする場合があります。
有害分散生成物:	酸化炭素

セクション 11－有害性情報	
潜在暴露経路情報	
成分情報	
吸い込み:	混合物のため、明確な試験データなし
目の接触:	混合物のため、明確な試験データなし
皮膚の接触:	混合物のため、明確な試験データなし 影響を受けやすい人は長時間の皮膚の接触で感作を起こす恐れあり
飲み込み:	混合物のため、明確な試験データなし
構成情報:	情報なし
毒性効果情報	
症状:	かゆみ、発疹、じんましん
短期間および長期間の暴露による慢性、急性、および遅発性効果	
感作性:	影響を受けやすい人は感作を引き起こす恐れあり 長時間皮膚に触れた場合、感作を引き起こす恐れあり
変異原性:	情報なし
発がん性:	発がん性をもたらす物質なし
繁殖毒性:	情報なし
STOT 単回暴露:	情報なし
STOT 反復暴露:	情報なし
慢性毒性:	情報に基づくとは作用なし
標的臓器:	皮膚
吸引性呼吸器有害性:	情報なし
毒性の数値尺度:	適用なし

セクション 12—環境影響情報

生態毒性、残留性/分解性および生体蓄積性

可動性、残留性、生物分解性、生体蓄積性、水生毒性、またその他の生態毒性に関するデータから判断して、環境に有害な影響を及ぼす製品ではないと認識されています。

その他の副作用

情報なし

セクション 13—廃棄上の注意

廃棄に関する規則

処分方法: 法令規則 (40 CFR 261)に従い、本製品は危険廃棄物に該当致しません。ただし他の化学物質に混ぜるまたは加えるなどの処置が施された場合、もしくは危険廃棄物との接触があった場合には、本素材も危険廃棄物に変わる恐れがあります。加工された素材が危険廃棄物に該当するかを確認するには 40 CFR 261 に確認して下さい。その他の規制は国、都道府県、市町村の基準に従って処分して下さい。

汚染した容器: 地域の規則に従って処分して下さい。

セクション14—輸送上の注意

DOT 規制なし

適切な船積み名称: 規制なし

危害要因クラス: 該当なし

TDG 規制なし

MEX 規制なし

ICAO 規制なし

IATA 規制なし

IMDG/IMO 規制なし

RID 規制なし

ADR 規制なし

AND 規制なし

セクション15—適用法令

物質及び混合物に特定の安全、健康及び環境に関する規則

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)

/ 第一種指定化学物質: 該当しない

/ 第二種指定化学物質: 該当しない

労働安全衛生法/ 文書交付義務対象物質: 該当しない

国際インベントリー

TSCA : TSCA に準拠しています。

DSL : 全ての生物学的成分が DSL に記載されているわけではありません。

TSCA-アメリカ有害物質規則法 セクション 8 (b)

DSL-カナダ国内物質リスト

アメリカ合衆国連邦規則

SARA313

Section 313 of Title III of the Superfund Amendments and Reauthorization Act of 1986 (SARA)

本製品は 40CFR Part 372 の通知対象となる化学物質を含有していません。

SARA311/312 危険有害性物質カテゴリー

急性健康毒性: 該当あり
慢性健康毒性: 該当なし
火災危険性: 該当なし
突如な圧力開放の危険性: 該当なし
反応危険性: 該当なし

CWA(水質浄化法)

本製品は水質浄化法(40 CFR 122.21 and 40 CFR 122.42)に従って、汚染物質として規制される物質を含有していません。

CERCLA(包括的環境対策・補償・責任法)

本素材は CERCLA (40CFR 302)もしくは SARA (40CFR 355)に従って、有害物質として規制されている物質を含有していません。

素材の処分に関して、都道府県、地域ごとに特定の報告義務がある場合は、その規定に従って下さい。

アメリカ合衆国 州の規制

カリフォルニア州 Proposition 65

本製品は Proposition 有害化学物質 65 を含有していません。

アメリカ合衆国 State Right-to-know 規制

本製品は State right-to-know によって規制された限界値を超える物質を含有していません。

セクション 16—その他の情報

HMIS 分類	健康性	1
	可燃性	0
	物理的有害性	0
	個人保護	B

当社の知識に関する限り、本紙に記載されている情報は正確なものです。しかし、その正確さや安全性に対する一切の責任は、当社及び関連業者では負いかねますのでご了承下さい。あらゆる物質の適合性の最終判断は、利用者の責任であることをご了承下さい。

あらゆる物質に未知なる危険性が潜んでいる可能性がありますので十分に注意してご利用下さい。本紙では一般的な危険性について説明しましたが、それ以外にも存在する可能性がありますのでご注意下さい。この SDS は国際基準 GHS に基づく国内規定 JISZ7253 に則って作成しています。

東栄部品株式会社

改訂日: 2024 年 3 月 14 日